

あさがおニュース

144号 4月発行



CONTENTS

理事長挨拶

ひな祭り

デイサービス～ひな祭り～

グルメ旅(にしんそば)

理事長挨拶

社会の変化と介護保険制度の改正

理事長 谷内 好

4年余りのコロナ禍もようやく鎮まってきたかの感がありますが、皆さま方と職員が力を合わせて乗り越えてくることができました。人知の及ばない新興感染症の怖さをあらためて思い知ったと言う辛い日々の連続でした。

そうした状況が原因かどうかは分かりませんが、日本の婚姻の数も減り、合わせて生まれて来る赤ちゃんの数も80万人を切ったという報道が続いて、少子化に一層拍車が掛かっています。

今の日本は、まさに多死・超高齢超少子化社会です。来年団塊ジュニア世代が高齢者となる2025年問題を前に、この4月介護保険制度が変わりました。医療保険制度と障害福祉サービスとの同時改定で、上記した社会の状況を色濃く反映したものです。

とりわけこの度のコロナ禍の経験からも、感染予防や介護と医療の強い連携強化が一番に目がつくところですし、健康寿命の延伸やQOLの維持向上という点からはリハビリや栄養マネジメントなどに力点が置かれていることが分かります。

また介護現場でのICT化や見守りセンサーなどの導入も進展してきました。ご利用者の皆さまの尊厳を守り、自立をご支援するという介護保険制度の主旨に沿ったプログラムや機器類の普及をさらに期待しているところです。

渓仁会の各施設での外国人職員も増え、日本語も上達してきました。とても大切な職員の方々です。物理的環境が進化し、また障がいをもった職員をふくめ多様な職員が協働する今の介護現場ですが、「介護を通して人間的に成長していくことを学ぶ」を合言葉として日々の介護サービスに努めてまいります。

変わらぬご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

ひな祭り

例年、入居者さんに楽しんでいただけるよう1階、2階、3階それぞれに雛人形を飾っています。3日にはユニットによって歌をうたったり、苺味のお菓子を作り、季節を感じていただきました。子供の頃どのように桃の節句を過ごしたかを思い出し、他の方と楽しげに話していました。



デイサービス

3月12日と13日に、桃の節句にちなんで「ひな祭りレク」を行いました。「ひな壇へ送ろうゲーム」ではグループで協力してひな人形をうちわに乗せて隣の人に渡してひな壇を完成させました。

「ひなあられの冒険ゲーム」では障害物を乗り越えてひなあられを手元に引き寄せたりと、2つのゲームどちらのゲームも皆さん良い笑顔で盛り上がっていました。



<行事>

4月15日～4月19日 花見外出レク 5月16日(木) 屋内喫茶(希望者のみ)

<特別入浴デー>

4月30日(火) 5月29日(水)

※ご利用者の人数の関係上、他の曜日からの参加はできませんのでご了承ください。

グルメ旅



北海道のご当地グルメ 「にしんそば」

「にしんそば」は、身欠きニシンを甘露煮にしてそばにのせた北海道の郷土料理です。「にしんそば」と言えば京都が有名ですが、実は北海道でも昔から食べられていました。京都では薄口醤油を使った塩味の強い出汁、北海道は濃口醤油を使った甘味のある出汁が特徴となっています。



お知らせ

2024年4月1日より、当施設のホームページがリニューアルされました！ぜひ下記のURL、QRコードからご覧ください！

社会福祉法人 溪仁会 / 介護老人福祉施設
月寒あさがおの郷

〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条11丁目2番35号

☎011-858-3333 発行責任者 菊地 裕一

施設ホームページURL <https://www.keijinkai.com/shafuku/asagao/>

※この広報誌への掲載写真は予め承諾を得て掲載させていただいております。

